

科目	地域・在宅看護の実際				
時間数	2単位 30 時間	授業方法	講義	授業時期	2 年
講師名	③越智歌織 ③印南智子 ③鈴木さやか ⑤高橋理恵 ①高橋美由紀				
実務経験	③看護師(医療機関等) ⑤理学療法士(医療機関等) ①保健師(在宅介護支援センター等)				
ねらい	地域で生活する人々とその家族を理解し、地域における様々な場での看護活動を理解する。 (地域で生活しながら療養する人々および障害を持ちながら生活人々と、その家族を理解し、在宅療養を支える看護活動を理解する。				
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域・在宅看護過程の特徴、各段階におけるポイントを理解する。 2. 地域・在宅看護の特性をふまえた地域・在宅看護過程の展開方法を理解する。 3. 看護を展開するなかで、地域・在宅看護を発展させる視点を持つことの重要性を理解する。 4. 外来受診、入院、退院、在宅療養、終末期までのさまざまな時期の地域・在宅看護を理解する。 5. 地域・在宅看護がロングタームケアであることを理解する。 6. 地域・在宅看護実践における多職種連携・協働のなかで看護師が果たす役割、多職種で関わる意義を理解する。 7. 地域共生社会の実現のために地域で看護師が果たすべき役割を理解する。 8. 地域・在宅看護マネジメントとはどのようなものかを理解する。 9. 退院支援、外来、介護保険制度における地域・在宅看護マネジメントを理解する。 10. 地域・在宅看護活動の創造とは何かを理解する。 11. 地域で新たな看護活動を創造する意義や方法を理解する。 				
授業計画					
回	内容				テキスト
1	地域・在宅看護における看護の展開① 地域・在宅看護における看護過程				1章 A
2	地域・在宅看護における看護の展開② 地域・在宅看護過程の展開方法				1章
3	地域・在宅における時期別の看護① 健康な時期の看護、外来受診期における看護、入院時の看護				3章 A、B、C
4	地域・在宅における時期別の看護② 在宅療養準備期(退院前)の看護:				3章 D
5	地域・在宅における時期別の看護③ 在宅療養移行期の看護				3章 E
6	地域・在宅における時期別の看護④ 在宅療養安定期の看護、急性増悪期の看護				3章 F、G
7	地域・在宅における時期別の看護⑤ 終末期の看護、在宅療養終了期の看護				3章 H、I
8	地域共生社会における多職種連携・多職種チームでの協働①				5章 A、B
9	地域共生社会における多職種連携・多職種チームでの協働③ 地域ケア会議、サービス担当者会議、地域資源の開発プロセス				5章 C、D 6章 A
10	地域・在宅看護マネジメント① 地域・在宅看護マネジメントとは/多様な場における地域・在宅看護マネジメント/介護保険制度上の地域・在宅看護マネジメント(ケアマネ)				6章 A、B3
11	地域共生社会における多職種連携・多職種チームでの協働② 訪問リハビリテーション(訪問 PT)				5章
12	地域・在宅看護マネジメント② 地域・在宅看護マネジメントとは 多様な場における地域・在宅看護マネジメント/病院で行う地域・在宅看護マネジメント(入退院支援センター)				6章 B1
13	地域・在宅看護マネジメント③ 多様な場における地域・在宅看護マネジメント/外来における地域・在宅看護マネジメント(外来看護師)				6章 B2
14	退院支援の連携とケアマネジメントの実際①				
15	退院の知らせがあつてから訪問看護を始めるまでの流れを実際の事例をもとに理解する。				

評価方法	各講師が各々の担当領域について終講時に筆記試験を行った結果及び平素の学習状況を総合して100点満点で評価する。 60点以上を及第点とする。	
教科書	地域・在宅看護論の実践:医学書院 1章、3章、5章、6章	